ドロップ・サイト・デイリー、１１月１２日：イスラエルがガザの病院を空爆し、6人が死亡；スコット・コロム氏がミシシッピ州の上院議員選挙で勝利；NVIDIAのCEOが辞任

脇浜義明訳

パレスチナ

＊イスラエル軍、ガザのナセル病院を攻撃、６人死亡：ガザ保健省によると、１２日、イスラエル軍がハーン・ユーニスにあるナセル病院を空爆、医師１人と子どもを含む３人が死亡、２８人が負傷した。

・ガザのパレスチナ保健省によると、過去２４時間のイスラエル軍の攻撃で８人のパレスチナ人が死亡し、２９人が負傷した。

・２０２３年１０月７日以降の累計死者数は７４，６５３人となり、負傷者数は１７６，００７人となった。いわゆる「停戦」初日の２０２５年１０月１１日以降、イスラエルの停戦違反の攻撃で殺害されたパレスチナ人は１６２２人、負傷者は５８７８人である。瓦礫の下から回収された遺体は８５０体である。

・ドロップ・サイト寄稿者モハメド・アハメドが撮影したナセル病院の映像には、建物の一部が無残に損壊し、病院のベッドや医療機器が瓦礫に覆われている様子が映っている。

・ナセル病院の院長アハメド・アル・ファッラー医師は、一般外科医のリズク・アブ・シュアイラ医師（５２歳）が自分の患者とともに死亡したと言った。院長は、ナセル病院がガザで専門的な外科手術ができる最後の病院で、手術が必要な患者たちは「先行き不安な状態」になると語った。

・院長によると、事前の通告なしに、２発のミサイル攻撃を受け、１発は不発だったが、病院の機能が「麻痺」した。医療複合施設の本館が攻撃され、外科、外科入院患者病棟、放射線科、検査室の４つの部門の機能が停止した。

・数年にわたるイスラエル軍のガザ攻撃の中で、ナセル病院は、部分的にせよ機能している数少ない医療施設である。アル・ファッラー院長は、この攻撃を含めて、ナセル病院はジェノサイド開始以降７回攻撃されたと語った。

・イスラエル軍は病院攻撃の事実を認め、それをハマスの司令官を標的にしたものと主張した。それに対してハマスは、「国際法で保護されている民間医療施設に対する戦争犯罪を隠蔽しようする明白な弁明」と非難している。

＊イスラエル軍、アッシファ病院の玄関付近への攻撃で１人殺害：アル・ジャジーラによると、１２日、イスラエル軍はアッシファ病院の玄関付近を空爆し、パレスチナ人１人が死亡、数人が負傷した。

・１２日、ガザ回廊中部のブレイジ難民キャンプ東で、イスラエル軍の発砲でパレスチナ人１人が死亡した。

＊ハーン・ユーニスでパレスチナ人乳児が低体温症で死亡：アル・ジャジーラによると、１２日、ハーン・ユーニスのアル・マワシ地区のテント内で、乳児が低体温症で死亡した。

・SNSに投稿された映像には、生後９か月のラキーク・カナンの遺体を父親が抱いて運ぶ様子が映っている。父親は「目が覚めたら子どもが青ざめて冷たくなっていた。ナセル病院へ連れて行ったが・・・息子は寒さで凍えて死んでしまった」と語った。

・過去３回の冬で、ガザ回廊ではたくさんのパレスチナ人、ほとんどが幼児が低体温症で死亡した。去年の冬には１１人の子どもが低体温症で死亡した。

＊イスラエル海軍が５人のパレスチナ人漁師を海に投げ込み、５人は行方不明：WAFA通信によると、ガザ回廊中部のデイル・アル・バラフの沖で、イスラエル海軍がパレスチナ人漁師５人を軍艦上で尋問した後、海へ投げ込んだ。５人が現在行方不明である。

・海軍は漁師らに発砲した後、拘束し、軍艦へ連行していた。

＊西岸地区全域で入植者とイスラエル兵がパレスチナ人を攻撃：WAFA 通信によると、１２日、西岸地区各地で入植者と兵士による襲撃と逮捕が相次いだ。

・ナブルス南のアッルッバン・アッシャルキーヤ村では、入植者が１００台以上の車両、数十本のオリーブの木、倉庫１棟に放火した。

・ヘブロン、ジェニン、ナブルス、カルキリアでは、イスラエル軍がパレスチナ人数人を逮捕し、家宅捜査を行い、財産を破壊した。

・ベツレヘム南方のアル・ハデル村では、イスラエル軍がパレスチナ人の家を１棟解体した。

＊イスラエル最高裁、起訴も裁判もなしに拘束されているガザの医師らの釈放を求める要請を棄却：イスラエル最高裁は、イスラエルの不法戦闘員法に基づいて起訴や裁判なしで拘束されている病院長や専門医などガザの医師１４人に関し、釈放を求める要請を棄却した。１４人の中には２年以上拘束されている者もいる。

・人権団体「人権のための医師団イスラエル」が、停戦が成立していることや、ガザ回廊の医師体制が崩壊していることを挙げて、最高裁判所に軍参謀総長に医師らに対する拘束命令を撤回するように命じるように要請していた。

・最高裁は、ガザ回廊における深刻な医師不足という状況を考慮して要望案件を検討したが、医師らを釈放する「例外的根拠」は見つからないとし、裁判所としての介入を見送った。

イラン

＊IRGC、ホルムズ海峡で大型タンカー２隻が炎上と発表：イラン革命防衛隊（IRGC)によると、IRGC が許可していないホルムズ海峡のルートを航行する２隻の巨大タンカーが機雷に接触した。

・これらのタンカーは、両船合わせて４０００万バレル以上の原油を積載していた。

・IRGC は、航法システムをオフにして、米軍に協力して海峡の南ルートを使う船舶は「同じような運命をたどる」と警告した。

＊トランプ大統領、イランとの交渉・合意は不要と発言：トランプ大統領は１２日、米国は「イランと「合意する必要はない」と述べた。「交渉する時代はもう過ぎ去った」と、彼は自分の SNS である Truth Social に書いた。「我々は彼等の資金、数千億ドルもの大金を手に入れ、さらに彼らの海峡まで手に入れたのだ！」と書いた。

・トランプ大統領はヴァンス副大統領について、「私はヴァンス副大統領に、イランのことより、米国内の民主党が支配する市や州で横行している大規模な汚職や犯罪に全神経を集中せよと求めた」と言った。これは、ヴァンスが戦争終結に向け、イラン国家安全保障最高評議会のモフセン・レザエイ書記と直接会談を検討しているというウォールストリート・ジャーナル紙が報道したことを受けての発言である。

・レザエイは、イランが米国と直接交渉しているという報道を否定した。カタールでの協議やヴァンス副大統領との直接会談が計画されているという報道は、米国内の経済的圧迫を緩和し、原油価格を下げるための「嘘」であると言った。レザエイは、イランが提示した７つの和平条件に対する米政府からの最初の回答は「不十分」で「欺瞞」が含まれているとして、それを拒否したと述べた。イランは現在、「明確かつ明白な回答」を待っていると言った。

＊イラン、アルゼンチンの海軍・空軍を「テロ組織」に指定：イラン外務省はアルゼンチンの海軍と空軍を「テロ組織」に指定した。これは、アルゼンチンが３月にイラン革命防衛隊（IRGC)を「テロ組織」に指定したことに対し、「相互主義の原則」に従って行ったものである。発表の中でアルゼンチンの陸軍については何も言っていない。アルゼンチン外務省はこれを「全く根拠のないもの」で「受け入れられない」と拒否した。ハビエル・ミレイ大統領の事務所は３月３１日、IRGC を「テロ組織」に指定し、その根拠として、１９９４年にブエノスアイレスのユダヤ人コミュニティセンター「AMIA」で起きた爆破事件を挙げた。この事件の実行犯をヒズボラだと断定した。

イエメン

＊アンサール・アッラー、サウジ主導連合軍を攻撃したと主張：アンサール・アッラーは１１日、サウジアラビア主導連合軍へ複数回攻撃を行ったと発表した。リヤドのキング・ハーリド国際空港、ヤンブーの石油ポンプ施設、アデン市のアル・ブライカ地区のサウジアラビア軍指揮所への攻撃である。サウジアラビア主導連合軍は、リヤドに向かっていた巡航ミサイル３発を迎撃し、サウジアラビア西部上空でドローン２機と弾道ミサイル２発を迎撃したと発表した。

レバノン

＊レバノン国民のほぼ４分の１が厳しい食料不足：国連は１１日、レバノンで連続する２つの紛争のために、人口の４分の１にあたる１００万人以上が食料不足に直面していると警告した。国連食糧農業機関（FOA)、世界食糧計画（WFP)、そしてレバノン農業省によると、来年半ばまでにこの数は１１５万人に達すると見られている。WFP のレバノン事務所のアリソン・オーマン・ラウィ代表は、各世帯にはもう選択肢ないほど追い詰められ、「小さな衝撃を受けるだけでも、深刻な危機に陥るだろう」と言った。レバノン政府の推計では、２０２４年以降の紛争による経済的損失は２７０億ドルに上る。また３月に始まったヒズボラとの直近の紛争で１００万人が避難民となり、６月に暴力がやや収まった後も，約１０万人が避難生活を続けている。イスラエル軍が依然として南レバノンの土地を不法に占拠しており、移送避難民の危機を悪化させている。

米国ニュース

＊ミシシッピ州上院選、民主党のスコット・コロムが共和党の現職シンディ・ハイド・スミス上院議員を破る：AP 通信によると、ミシシッピ州上院選で民主党のスコット・コロムが共和党の現職シンディ・ハイド・スミス上院議員に勝った。選挙管理当局が数日間かけて不在者投票や宣誓書付きの投票の集計を行い、やっと１１日に勝敗が確定した。ハイド・スミスは２分間のビデオ映像で敗北を認め、「ミシシッピ州の有権者の決定を尊重する」と言った。コロム（４３歳）は地元の検察官で、かつてレーガン政権で補佐役を務めた人物の息子である。彼は１９４７年以来初めてミシシッピ州選出の民主党上院議員となり、南北戦争後の再建期以降ミシシッピ州初の黒人上院議員となる。ミシシッピ州は２０２４年の大統領選ではトランプが２３ポイント差で勝利を収めた州である。

＊下院共和党、ヘグセス長官弾劾の動きを阻止：下院は、ピート・ヘグセス国防長官に対する告発を委員会に付託する案を賛成２１１、反対２０４で可決した。このヘグセス弾劾を主導したトーマス・マッシー下院議員は民主党と一緒に反対票を投じた。可決の結果、共和党はヘグセス弾劾手続きを無期限に遅らせることが可能となった。民主党から１１人、共和党から７人が投票を欠席した。ヘグセスは、議会の承認なしにイランやその他の戦争を行ったこと、民間人の犠牲を軽減する法律を無視したこと、公的発言を行った上院議員に対して報復措置をとったことなど、弾劾になる８つの告発を受けていた。トランプは下院の措置を「無罪の証明」と呼び、民主党の暴挙を「止めなければならない」と言った。しかし、来年は民主党は上下院で多数を占めるので、改めてヘグセス弾劾を求めるかもしれない。

＊Nvidia の CEO ジェンスン・ファン、中国の女性スパイとの不倫情事と部下女性との不倫情事が暴露され、辞任：同社重役会によれば、同社 CEO で共同設立者のジェンセン・ファンは１２日朝辞任した。彼の辞任は、ニューヨークタイムズ紙が彼の中国人女性スパイ及び社内の女性従業員との情事を報道したことを受けて行われた。重役会が後任の選定を行う間、CFO（最高財務責任者）のコレット・クレスが暫定 CEO[を務める。Nvidia 社は高度な AI チップ市場を推定９０％を支配しており、今回の騒動で同社の株は１０％以上下落した。

＊次期下院情報委員長、トランプ政権下の CIA の「非常に攻撃的な」秘密工作を精査すると公言：次期議会で下院情報委員会を率いることになる民主党のジム・ハイムズ議員は１１日、トランプ政権下の CIA の、例えば１月にベネズエラのニコラス・マドゥロ大統領を拉致した件などの過度な秘密工作について調査すると誓約した。ハイムズは「秘密工作は世界を舞台に非常に攻撃的になっており、我々が監視を強化しないと、委員会は本

来の責務を放棄したことになる」と言った。ハイムズはまた、ホワイトハウスの舞踏会場や高さ２５０フィートの凱旋門計画などとランプの「自己顕示的プロジェクト」に対して国防・情報関連請負業者からの寄付についても調査するつもりである。

＊マルコ・ルビオ国務長官、フロリダ大学のフットボール試合観戦のための移動に１２０万ドル以上の税金を使った：ワシントン・ポスト紙によると、息子のアンソニーがフロリダ大学フットボール・チームで競技奨学金を受けずにチームに加わったランニングバックであるマルコ・ルビオ国務長官は、フロリダ大学があるゲインビルへの往復に少なくとも２３回政府専用機を使った。そのうち１５回は、国務省によって「完全に私用」と分類されている。ワシントン・ポスト紙の試算では、これら１５回のフライトには約７７万６００ドルの費用がかかり、公務と私用が混在した7回のフライトを含めると、４４万３９００ドルの費用が加算される。政府の長官は民間航空機の利用が禁じられているので、マルコ・ルビオが政府専用機の私的利用で返金すべき金額はエコノミークラスの運賃で、ワシントン・ポスト紙によれば、その合計は1万８０００ドルである。ルビオは、今後も「自分自身や家族にとって重要な」行事には出席する意向だと言った。国務省は、ルビオが軍用機を利用したのは「安全な通信」を確保し、「政府の仕事の継続性」を維持する為であったと説明している。

＊ホワイトハウスの法律顧問、民主党議員の政府高官に対する監視計画に関して刑事捜査すると脅迫：ホワイトハウスの法律顧問ウィル・シャーフは、トランプ政権が民主党による「不当で気まぐれな脅し」に注意していると述べた。彼は、民主党が繰り返し大統領とその側近を調査すると脅迫しているのは、憲法上の限界を超え、「明白な犯罪行為」に該当する可能性があると警告した。この警告は、次期下院監視委員長に就任するロバート・ガルシア民主党議員宛ての書簡の形でなされた。シャーフはさらに、行政府として議会を調査して対抗する可能性も示唆した。トランプ大統領は、自分の政権を調査すると公言する民主党議員らに、刑事罰を科すと繰り返し脅かしてきた。

＊米軍機、２か月間で２度目の英空軍基地からの移動：ワシントン・ポスト紙が確認した飛行追跡データによると、9日、3機のオスプレイと１０機の KC-135 空中給油機が、英国のミルデンホール空軍基地から、イングランド、スコットランド、スペイン、ドイツの各基地へ再配置された。ウォールストリート・ジャーナル紙は、この移動をイランの脅威のためだと報じたが、どんな脅威なのか具体的示さなかった。以前に、２人の男が起訴されたイラン・テロ計画の根拠のない疑いで、米軍が爆撃機をフェアフォード英空軍基地から撤収した事例がある。

＊トランプ大統領、メキシコに対し移民キャラバンを阻止しなければ関税を倍増すると脅し：トランプ大統領は、約１５００人の移民キャラバンが米国を目指して北上しているとされるのをメキシコが阻止しなければ、メキシコからの輸入品に対する関税を倍増すると脅した。彼はこの移民キャラバンを「侵略」と呼び、「寛容は一切示さない」と言った。これに対し、メキシコのクラウディア・シェインバウム大統領は反論し、トランプ2期目が始まって以降、移民キャラバンは米・メキシコ国境には到達していないと指摘した。メキシコ当局は、移民が母国へ帰還するか、あるいはメキシコに留まることを可能にする枠組みを通して、移民問題を管理していると言った。

＊スコット・ベセント財務長官、イランの脅威があると言うことで、自宅から出た：ニューヨークタイムズ紙によると、１０日、スコット・ベセント財務長官がワシントン D.C の自宅を出て、軍事基地へ移動した。米高官等はここ数週間、現職または元政府高官を標的にしたイランの米国内工作活動が「より進んだ段階」に達したと結論付けたと、複数の情報筋がニューヨークタイムズ紙に語った。とりわけ標的になっているのは、8月からの制裁を通じてイランを経済的に孤立させる国際的キャンペーンを主導してきたベセントだという。昨年は、大統領顧問（現在は首席補佐官）のスティーブン・ミラーやパム・ボンディ元司法長官を含む、少なくとも６人の政府高官が、身の安全を守るための住居へ移った。

＊シカゴ在住の父親が、パキスタンへの３８時間の強制送還の空輸の末、死亡した：ＡＢＣシカゴの１０日の報道によると、シカゴ郊外に住むアヤズ・アーメド（６１歳）が、8月に、ＩＣＥがチャーターした便でパキスタンへ強制送還される途上、３８時間に及ぶ移動の末死亡していた。アーメドは6月に訪問ビザの期限を超え

て滞在しているとして逮捕され、インディアナ州クレイ郡司法センターに収容された。家族によると、このセンターでは、医師から ICE に 2 型糖尿病などの病気に関する書簡が送られていたにもかかわらず、健康が悪化するばかりであった。家族は、国外退去を早めて早く治療機会を得るために、帰国用航空券を購入すると申し出たが、ICE はそれを拒否した。アーメドと一緒に国外退去させられた目撃者によると、彼は失禁するほど容体が悪化し、到着したときは意識を失っていたにもかかわらず、医療的措置はなかった。到着 4 日後に、アーメドは亡くなった。

＊共和党、下院のリーダーにジム・ジョーダンを選出、上院の少数党院内総務にはジョン・スーンを留任：右派グループ「フリーダム・コーカス」の創設者の一人であるジム・ジョーダン下院議員が次期下院少数党院内総務に選出された。彼は１０日の無記名投票でスティーブ・スカリース下院議員を３３票差で破った。また同じ日に行われた院内幹事を選ぶ選挙ではトム・エマー下院議員がオーガスト・フラガーの挑戦を退けて留任となり、共和党議員総会の議長にはリサ・マクレーン下院議員が、エリン・ハウチン下院議員とグレッグ・ストービー下院議員を破って選出された。

・上院共和党は１０日、中間選挙敗北に関する緊張した非公開の会議の後、ジョン・スーンを留任させて、次期少数党院内総務にした。対立候補がいなかったので、満場一致であった。ジョシュ・ホーリー上院議員とロン・ジョンソン上院議員による「投票を延期せずにすぐ行おう」という動議が３１対１５で可決されていたので、速やかな投票で満場一致となった。スーンは、共和党が多数を占める残りの 2 か月間を「最大限に活用し、積極的に攻めの姿勢で行こう」と言った。

＊上院と下院の民主党、次期議会の指導権をめぐって論戦、アレクサンドリア・オカシオ・コルテス下院議員は１０日、チャック・シューマーの上院多数党院内総務への支持を拒否：記者団から議事堂前で上院民主党の指導部について質問されたオカシオ・コルテス議員は、新たな指導部を求める声が「多くのところから上がっている」と言った。今月で７６歳になるシューマーは、自分が多数党院内総務に就任するのに十分な支持を確保したと言っている。

・オハイオ州選出のドン・レナード下院議員は１０日、SNS への投降で、下院民主党古株らが、もしレナードがハキーム・ジェフリーズ下院議員を下院議長にすることを支持しなければ、「地獄のような目に遭わせてやる」と脅迫したと述べた。レナードは、長年共和党の牙城だったオハイオ州の選挙区で勝ち上がった新人議員で、先輩議員から、ジェフリーズが「シチズンズ・ユナイテッド」判決を覆す憲法修正案や、イスラエル支援、イラン戦争などの問題に真剣に取り組むかどうかに関わらず、ジェフリーズに投票するように指示されたとも述べた。ジェフリーズは、少なくとも３０人の下院民主党の反対者がいても議長になれる余裕がある。

＊連邦検察は、イルハン・オマル下院議員の元ボディガードを重罪で起訴したが、これは明白にオマル議員に関する不利な情報を収集する手段である：ニューヨークタイムズ紙によると、オマル議員の海外出張時に短期間警護を担当したソマリア系英国人のアブドクラヒ・モハメドは、グリーンカード申請面接で宣誓供述で偽証したとして起訴された。その面接では、オマル議員がソマリア政府のために動いたか、そのために米当局者と接触したかなどの非定型的な質問をされ、それに「ノー」と答えた。それが偽証というのだ。検察は、オマル議員に不利な情報と引き換えにモハメドの国外追放を阻止してやると申しでたと報じられており、捜査は「１００％大統領府が主導している」とモハメドに伝えたという。オマル議員の広報担当者は、モハメドを利用した捜査を「大統領権力の甚だしい乱用」と非難した。

その他の国際ニュース

＊エジプトの裁判所、『マダ・マスル』編集長の再審で裁判官忌避申し立てを検討するために審理を延期：エジプトの裁判所は１１日、『マダ・マスル』の編集長リナ・アタラの裁判を、アタラが裁判官の忌避を申し出たので、それを検討するために、審理を１１月１８日まで延期した。アタラは、「虚偽のニュース』の公表と無許可でウェブサイトを運営した罪に問われている。『マダ・マスル』は、弁護団が忌避申し立てをした理由は、当

該裁判官がすでに「被告に対して予断を抱いている」からだと言っている。この裁判官は別の欠席裁判でアタラに有罪判決を下している。この裁判について、人権団体は、適正な法的手続きを欠いた「見せかけ裁判」だと指摘している。

＊パキスタンのイムラン・カーンの政党、病院に移されたイムラン・カーンとの面会を要求：イムラン・カーンは刑務所から一時的に病院へ移された後、夜のうちにまた刑務所に戻された。彼が率いる政党「パキスタン正義運動」(PTI)はカーンとの面会を求めた。PTI は、彼の病院入りは彼の健康状態が「懸念すべき問題」のためだと言って、病院送りに関しては家族や主治医には知らされていなかったと述べた。党も入院の事実は報道を通じて知ったと言っている。カーンは本人が否定している汚職の容疑で２０２３年８月から収監されている。

＊カザフスタン系のハッカー集団、AI エージェントを使ってタジキスタンから「国家安全保障関連文書を窃取：シンガポール拠点企業「クラウドテック」が１１日に発表した報告書によると、「サイレント・リンクス」と呼ばれるカザフスタン関係のハッカー集団がオープンソースの AI フレームワークを使って、タジキスタンから国家安全保障に関する２０００件以上の文書を盗み出した。ロイター通信によると、セキュリティ企業「クラウドテック」が保護措置を講じないでいたサーバーを調査した結果、このハッカー活動が発覚した。「クラウドテック」の報告書によれば、ハッカー集団は自律型 AI エージェントを使用してタジキスタンの鉄道網に侵入したほか、ウズベキスタンやトルクメニスタンをも標的にしていた。

＊アブダビでのロシア・ウクライナ交渉、捕虜交換の合意：UAE のアブダビで２日間行なわれた米国仲介の交渉が１１日に終わった。ロシアの首席交渉官ウラジーミル・メジンスキーによると、両国は「大規模な」」捕虜交換に合意した。彼は、米国特使のスティーブ・ウィトコフとジャレッド・クシュナーとともにモスクワへ向かった。米国人二人はプーチン大統領と交渉について話し合う予定である。２人はモスクワ会談の後、アイルランドのダブリンで、ウクライナのゼレンスキー大統領と会談する。

・１１日、ロシア外務省はアレクサンドル・ダルチェフ駐米大使の突然の死去を発表した。ダルチェフは１年半前に駐米大使に任命され、それ以前は２０１４～２０２１年の間、駐カナダ大使を務めた。

＊スペインで住宅危機に抗議する２４時間ストライキ、数百万人の労働者が参加：スペインで１１日の深夜から数百万人の労働者が２４時間ストライキに突入した。交通機関が混乱し、企業や工場や店舗は操業短縮するか、一日休業するかであった。スペインの労働組合 UGT と CCOO によれば、自動車産業や港湾部門の労働者は９０％がスト参加し、広範な争議となった。生活費高騰に抗議する活動は、９月にマドリードのアパートから８７歳の女性マリカルメン・アブスカルが立ち退かされた件をきっかけに拡大した。彼女は立ち退きの数日後に亡くなった。

＊中国、米国の制裁に直面しているキューバに「強固な支持」を表明：中国の王毅外相は１１日、米国の封鎖と厳しい制裁で苦しんでいるキューバに対して、中国は「強固な支持」を提供すると述べた。王毅外相はキューバの特使に対し、中国はキューバとの「意思疎通」を強化し、協力を推進し、「共に強権政治と一方的行動に反対する」と伝えた。米国は２月からキューバに対して燃料の禁輸措置を講じており。このためキューバ全土で停電や物資不足が生じている。さらに、封鎖でキューバの医療体制は麻痺している。

＊イタリアの共産主義武装組織「赤い旅団」の元メンバー、アルゼンチンでの自宅軟禁から逃亡：イタリアの武装組織「赤い旅団」の元メンバーのレオナルド・ベルトゥラッツイ（７４歳）が１０日、アルゼンチンで自宅軟禁から逃亡した。AP 通信によると、彼はハーネスとロープを使って５階建てのアパートから抜け出したという。現在も逃走中である。ベルトゥラッツイはテロ関連の罪で２７年の禁固刑を受けており、イタリアへの身柄引き渡しに直面していた。彼は１９７８年に元首相アルド・モロの拉致・殺害事件に関与したとしてされている。２００４年にアルゼンチンから難民認定を受けたが、２０２４年にハビエル・ミレイ大統領政権がその認定を取り消した。アルゼンチン最高裁は昨年イタリアへの彼の身柄引き渡しを承認した。

＊国連報告、２０２６年第３四半期にハイチの首都で拉致事件増加：国連によれば、ハイチの首都ポルトープランスで、２０２６年第３四半期で、第２四半期に比べて、誘拐事件が増加した。犠牲者の１０％は子どもである。また、この期間中１１６７件の殺害事件と４５９件の傷害事件が記録されたが、すべてギャングと治安部

隊によるものである。国連は、ギャングによる性的暴力の犠牲者を少なくとも３４４人を記録している。また、警察による処刑あるいは処刑未遂の件は４４件で、前の四半期の１４件から激増している。

＊コンゴ民主共和国のエボラ出血熱感染者数は１万１０４２人、死者数は少なくとも５３８７人となった：
政府が１２日に発表したデータによると、エボラ出血熱感染者数は１万１０４２人、死者数は５３９７人となった。これは同国史上最大かつ最も犠牲者が多いエボラ出血熱流行で、２０１４～２０１６年に西アフリカで発生した流行に次いで、史上番目の規模と死者数を記録した。今月初め、世界保健機関（WHO)は、この病気に対する新しいワクチン２種類の臨床実験を承認した。試験結果は２０２７年初旬までに分かる。

＊国連によると、２０２６年、暴力を逃れて約６万４０００人がナイジェリアからニジェールへ避難した：
国連難民高等弁務官事務所（UNHCR)の報告によると、今年、イスラム過激派や武装ギャングの攻撃から逃れて、ナイジェリア北部からニジェールへ約６万４０００人が避難した。ニジェールにはすでに５０万人以上の避難民や亡命希望者がおり、そのうち約３２万７５００人がナイジェリア人である。新避難民はディファやタウアの国境地帯に留まっており、ディファでは２万３０００人がいて、その３分の２は子どもである。UNHCR のドミニク・ハイド報道官によると、ニジェールでは数千人の人々が食料、水、住居、その他公共サービスが不足して、苦しい生活をしている。支援機関は、栄養失調や呼吸器感染症、衛生環境の劣化の増加を報告している。